

『第5類・第6類消防設備士ポイントレッスン』正誤表

2018年6月21日現在

以下の誤りがございました。心よりお詫び申し上げます。

訂正箇所	誤	正
P46 問題3	図のように水平な棒に20kNと10kNの力が作用しているとき…	図のように水平な棒に30kNと10kNの力が作用しているとき…
P52 問題14 正答	(3)	(2)
P52 問題30 解説	…よって圧力一定のもとでは、体積が1/2となる。	…よって圧力一定のもとでは、体積が2倍となる。
P133 設置基準	2階以上または地階で、収容人員が20人以上。	2階以上または地階で、収容人員が30人以上。
P134 B設置基準	2階以上または地階で、収容人員が20人以上。	2階以上または地階で、収容人員が30人以上。
P147	次ページをご参照ください。	

締付トルク値 (kN・cm)

ボルトの呼び径

取付具の固定

定着部の安全確認

M10	1.5	2.5
M12	3.0	4.5
M16	6.0	8.5

避難器具の固定場所の設計基準

避難器具を取り付ける部分は、下表のように避難器具の種類に応じて規定の荷重や荷重方向に耐えられるものでなければなりません。

種類	a 荷重 (kN)		b 付加荷重 (kN)		c 荷重方向		
避難はしご	有効長（最上部の横棧から最下部横棧までの長さ）について2mまたはその端数ごとに1.95を加えた値		自重 (取付具の重量が固定部にかかる場合はその重量を含む)		鉛直方向		
緩降機	最大使用者数に3.9を乗じた値						
すべり棒	3.9						
避難ロープ	3.9						
救助袋	垂直式	袋長が10m以下のもの	6.6		入り口金具重量	鉛直方向	
		袋長が10mを超え20m以下のもの	9.0				
		袋長が20mを超え30m以下のもの	10.35				
		袋長が30mを超えるもの	10.65				
	斜降 垂直式	30	40	上部	下部	入り口金具重量 (上部のみ) 自重+風圧力、地震力のいずれかの大き な値+積雪荷重	上部 俯角70度 下部 仰角25度
		袋長が15m以下のもの	3.75	2.85			
		袋長が15mを超え30m以下のもの	5.85	5.25			
		袋長が15mを超え30m以下のもの	7.35	6.45			
	袋長が40mを超えるもの	8.7	7.5				
すべり台	踊場の床面積 1㎡当たり3.3にすべり面 1㎡当たり1.3を加えた値				合成力の方向		
避難橋	1㎡当たり3.3						
避難用タラップ	踊場の床面積 1㎡当たり3.3に踏板ごとに0.65を加えた値						

※風圧力：1㎡当たりの風圧力は、次の式によること。

$$q = 60k\sqrt{h} \quad q: \text{風圧力 (kN/㎡)} \quad k: \text{風力係数 (1とする)} \quad h: \text{地盤面からの高さ (m)}$$

※積雪加重：積雪量が1㎡当たり1cmにつき20N以上として計算する。

※地震力：建築基準法施行令第88条の規定の例によること。